

事業者向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	67	33		建物に入る際に段差があるが、建物と土地の関係でスロープを常時設置することが困難である。必要時に可動式のスロープを設置するようにしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	100			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83	17		ガイドラインに沿って、「発達支援」「家族支援」「地域支援」の領域全てにおいて、個別支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83	17		・プログラムの立案については、特定の職員で行われている面がある。職員全体でプログラムの立案をするようにしていく。
	15	活動プログラムが固定しないように工夫しているか	100			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100			

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100			
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100			
	23	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	100			
	24	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	83	17		小学校に移行する児童の情報共有については令和6年度に実施する計画で関係機関と協議をしている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	67	17	17	・保育所等との交流はありませんでした。今後の課題とする。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	83	17		自立支援協議会、子ども部会には毎回、児童発達支援管理責任者が出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	67	17	17	ペアレントトレーニングは行っていない。今後の課題とする。
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100			
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			

	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83	17		保護者同士の交流を含めて、参加型のイベントを開催している。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	35	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			
	36	個人情報に十分注意しているか	100			
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100			
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか	100			
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	83	17		年に4回の避難訓練を実施しているが、児童発達支援においては実施していない。R6年度実施する。
	41	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100			てんかん発作があった場合の対応方法を各部屋に掲示し、確認が取れるようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	100			
非常時等の対応	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100			

令和6年3月実施